



Red Hat AMQ 2021.Q1

AMQ Online 1.7 on OpenShift リリースノート

『AMQ Online 1.7 on OpenShift リリースノート』

Red Hat AMQ 2021.Q1 AMQ Online 1.7 on OpenShift リリースノート

『AMQ Online 1.7 on OpenShift リリースノート』

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Release_Notes_for_AMQ_Online_1.7_on_OpenShift.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本リリースノートには、OpenShift Container Platform リリース上の AMQ Online 1.7 に含まれる新機能、改良された機能、修正、および問題に関する最新情報が含まれています。

目次

オープンソースをより包括的に設定する	3
製品ライフサイクル	4
第1章 AMQ ONLINE 1.7 の長期サポート	5
第2章 AMQ ONLINE コンポーネントバージョン	6
第3章 機能拡張	7
3.1. ルーターに許可される AMQP メッセージ転送の最大サイズの設定	7
3.2. グローバルデッドレターアドレスの有効化	7
第4章 修正された問題	8
第5章 既知の問題	9
第6章 重要なリンク	10

オープンソースをより包括的に設定する

Red Hat は、コード、ドキュメント、および Web プロパティにおける問題のある言語の置き換えに努めています。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、弊社の CTO、[Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

製品ライフサイクル

AMQ Online 1.7 は長期(Long Term Support)のリリースバージョンです。LTS 更新は、2023 年 6 月 30 日に製品の EOL まで提供されます。これらの更新は、重大なバグ修正およびセキュリティー修正に限定されます。

製品ライフサイクルの詳細は、以下の Red Hat サポート記事を参照してください。

- [AMQ Online のライフサイクルの終了](#)
- [Red Hat ミドルウェア製品のアップデートとサポートポリシー](#)
- [AMQ LTS リリースでサポートされる期間](#)

第1章 AMQ ONLINE 1.7 の長期サポート

AMQ Online 1.7 は長期(Long Term Support)のリリースバージョンとして指定されています。バグ修正およびセキュリティーアドバイザリーは、一連のマイクロリリース（1.7.1、1.7.2、1.7.3 など）で AMQ Online 1.7 で利用可能になります。LTS リリースストリームに関する以下の重要な点に注意してください。

- LTS リリースストリームは、バグ修正およびセキュリティーアドバイザリーのみを提供します。このストリームに追加された新しい機能拡張はありません。
- サポートされている設定を維持するには、LTS リリースストリームの最新のマイクロリリースにアップグレードする必要があります。
- LTS バージョンは、製品のライフサイクル終了（2023 年 6 月）まで、AMQ Online 1.7.0 時点からサポートされます。

第2章 AMQ ONLINE コンポーネントバージョン

AMQ Online 1.7 on OpenShift Container Platform は AMQ Broker 7.8 および AMQ Interconnect 1.10 をベースにしています。

第3章 機能拡張

3.1. ルーターに許可される AMQP メッセージ転送の最大サイズの設定

`router.policy.maxMessageSize` フィールドを標準インフラストラクチャー設定に追加しました。このフィールドは、ルーターに許可される AMQP メッセージ転送の最大サイズをバイト単位で指定します。詳細は、「[標準インフラストラクチャー設定フィールド](#)」を参照してください。

3.2. グローバルデッドレターアドレスの有効化

`globalDLQ` フィールドを標準インフラストラクチャー設定に追加しました。`true` に設定すると、システムは `!GLOBAL_DLQ` という名前のフォールバックグローバルデッドレターアドレスを確立します。詳細は、「[標準インフラストラクチャー設定フィールド](#)」を参照してください。

第4章 修正された問題

- [ENTMQMAAS-2632](#) - エージェントは多数の接続/アドレスが定義されている場合に予期せず高いCPU/メモリーを使用します。
以前のバージョンでは、接続が多数あるデプロイメントでは、CPUの使用率が予期せずになくなっていました。この問題は解決され、[ENTMQMAAS-2641](#) および [ENTMQMAAS-2668](#) に関連しています。
- [ENTMQMAAS-2640](#) - 送信ブローカー接続のアイドルタイムアウトが再接続をトリガーしない可能性がある
以前は、内部 AMQ Online ブローカープラグインがアウトバウンドブローカー接続のアイドルタイムアウトを検出した場合、常にルーターに再接続できませんでした。この問題は解決されています。
- [ENTMQMAAS-2641](#) - Address/connection stats collections may misly run concurrently to excessive memory use/OOMs
以前のバージョンでは、接続およびアドレスが多数あるデプロイメントでは、エージェントの統計収集期間が超過する可能性があります。これにより、前の接続中でも統計の収集サイクルが開始していました。これにより、メモリーに問題が生じます。この問題は解決されています。
- [ENTMQMAAS-2646](#): 1.5.3 から 1.5.4 へのアップグレード後の自動リンクがありません
以前のバージョンでは、AMQ Online 1.5.3 から 1.5.4 にアップグレードし、キューアドレスタイプで既存の標準アドレス空間が定義されている場合、これらのアドレスは自動リンクが欠けていました。この問題は [ENTMQMAAS -2657](#) に関連しています。これらの問題は解決されています。
- [ENTMQMAAS-2664](#) - Monitoring does not work on OpenShift >= 4.7
OpenShift Container Platform 4.6 以降では、user-workload モニタリングがテクノロジープレビューから一般公開に変更されます。これにより、user-workload モニタリングを有効にして AMQ Online を監視する方法が変更されました。この問題は解決されています。詳細は、「[ユーザー定義プロジェクトのモニタリングの有効化](#)」を参照してください。
- [ENTMQMAAS-2668](#) - Console で表示またはアップデートする接続速度が遅い
以前のバージョンでは、新しい接続または既存接続のメトリクスへの更新は、多数のコネクションを持つデプロイメントのために Red Hat AMQ Console に表示されるの速度が遅くなりました。この問題は解決されています。

第5章 既知の問題

- [ENTMQMAAS-1281](#) - OpenShift Container Platform 4.x で OLM を使用して AMQ Online をアンインストールする際に削除されないリソース
回避策: Operator Lifecycle Manager(OLM)を使用して AMQ Online をアンインストールする場合にすべてのリソースを削除する方法は、「[Operator Lifecycle Manager を使用して AMQ Online のアンインストール後に残りのリソースの削除](#)」を参照してください。
- [ENTMQMAAS-1799](#): ルーターパターン一致構文を使用して重複したアドレスを定義できます。標準のアドレス空間インスタンスでアドレスを定義する場合、以下の制限が address リソースの **spec.address** フィールドの構成に影響することに注意してください。

ルーターはアドレス区切り文字の文字としてピリオド(.)とスラッシュ(/)の両方を指定し、両方の文字が同等であることを指定します。また、ルーターは明示的に含まれていない場合でも、先頭のアドレス区切り文字文字を推測します。

AMQ Online はこれらのルールをエンコードしないため、ルーターネットワーク上で照合するアドレスの定義を防ぐ必要があります。

回避策: この競合を回避する1つの方法は、以下のガイドラインに従ってアドレスを定義することです。

- アドレスでピリオドまたはスラッシュのいずれかを使用しますが、両方を使用しません。
- アドレスセパレーター文字でアドレスを開始しないでください。

ルーターでの一致の一致に関する詳細は、Red Hat AMQ Interconnect ドキュメント、[アドレスパターンの一致について参照](#)してください。

第6章 重要なリンク

- [Red Hat AMQ 7 でサポートされる構成](#)
- [Red Hat AMQ 7 コンポーネントの詳細](#)

改訂日時 : 2021-07-01 16:04:08 +1000